

# 食品安全委員会とインタープリター

食品の安全性に関する  
リスクコミュニケーター  
(インタープリター型)  
育成講座 導入編

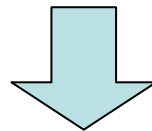
- DVD「よくわかる！ 食品安全委員会」  
～食品の安全性をどう守るの？～
- 食品安全委員会の  
インタープリター育成講座

# 食品安全委員会は リスク評価機関です

# 食品安全委員会が設置された経緯

平成13年

- わが国初のBSE発生
- 行政対応に対する国民からの  
厳しい批判



国民の健康保護の最優先

「リスク分析」手法の導入

「リスク評価」と「リスク管理」の分離

リスク評価機関 = 食品安全委員会

# 「リスク分析」という発想が生まれた

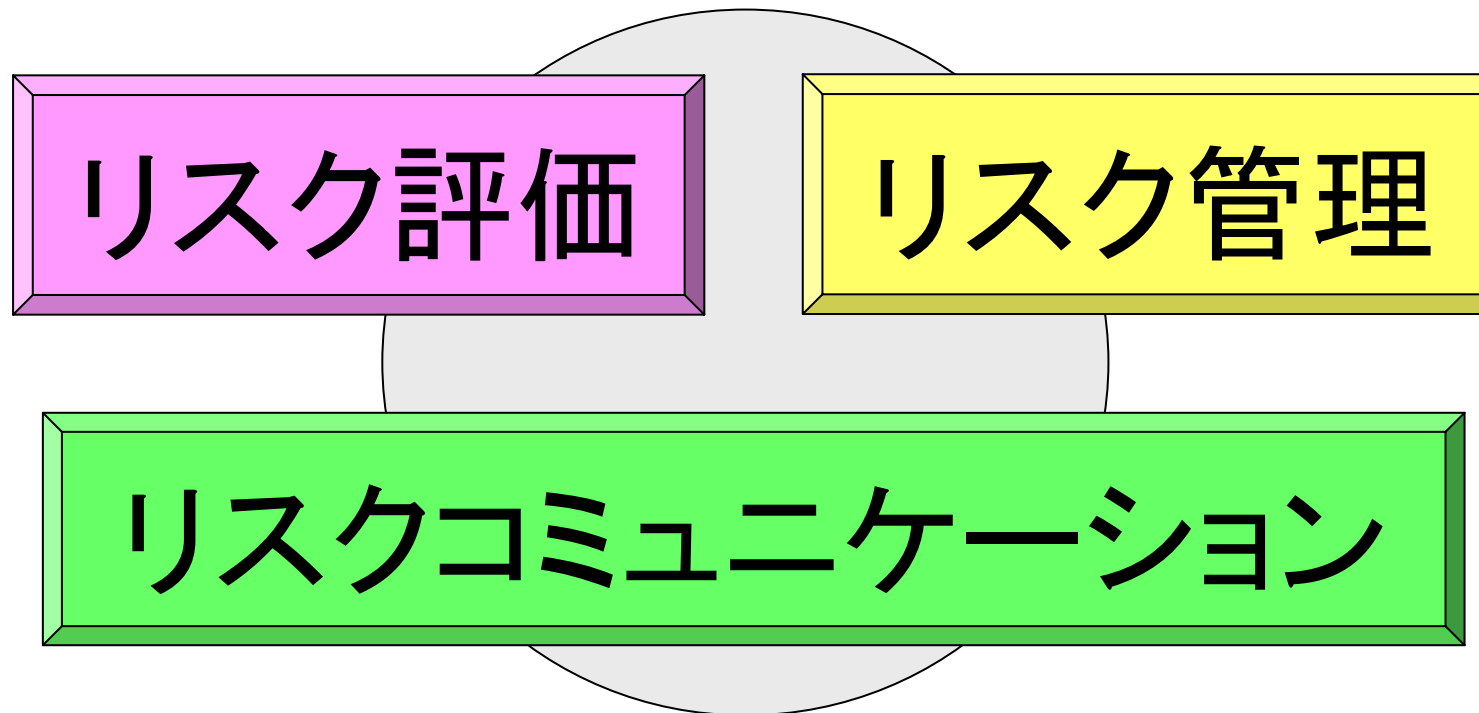
## 安全とは？

危険の原因となるものがあるとしても、  
健康に被害の出ない範囲内で  
存在している状態

- 個々のリスクの大きさを、科学的に把握しよう。
- 科学的な根拠をもとに政策を決め、管理しよう。
- それらの情報をみんなで共有しよう。

# 「リスク分析」の考え方

どんな食品にもリスクがあるという前提で、  
科学的に評価し、**妥当な管理**をし、  
**意見交換**して、食品の安全性を確保する  
**一連のプロセス**



# 食品安全委員会は「リスクを評価する」機関

一般的には・・・

リスク評価

法律用語では・・・

食品健康影響評価

.....

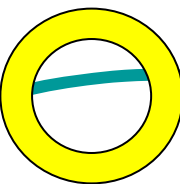
健康に悪影響をもたらす原因となる可能性のある食品  
中の物質または食品の状態(ハザード)

を摂取することによって、

どのくらいの確率でどの程度の健康への悪影響が起  
きるか(リスク)を

科学的に評価する(評価する)。

▲▲▲(という食品)から、  
**基準**をはるかに超える農  
薬が検出された。

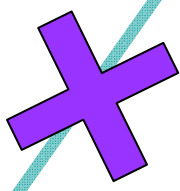


全部足してもADIより小さく  
なるように設定

各農産物中の**残留基準値**  
||  
厚生労働省  
(基準の設定、指導・監督)

基準値の前提  
となる数値

**ADI** (〇〇 mg/kg体重/日)  
||  
食品安全委員会が評価

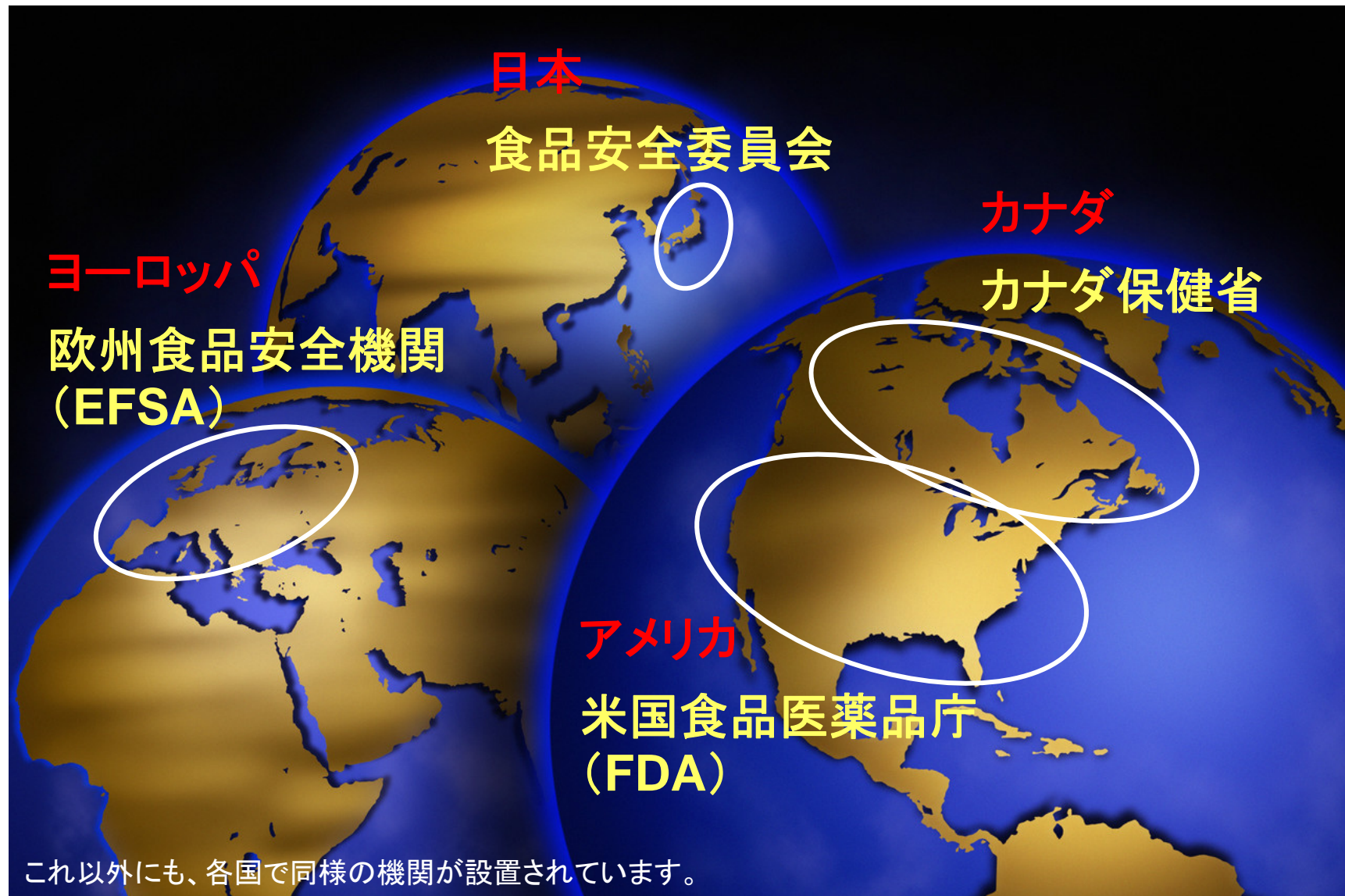


# リスクコミュニケーションの重要性

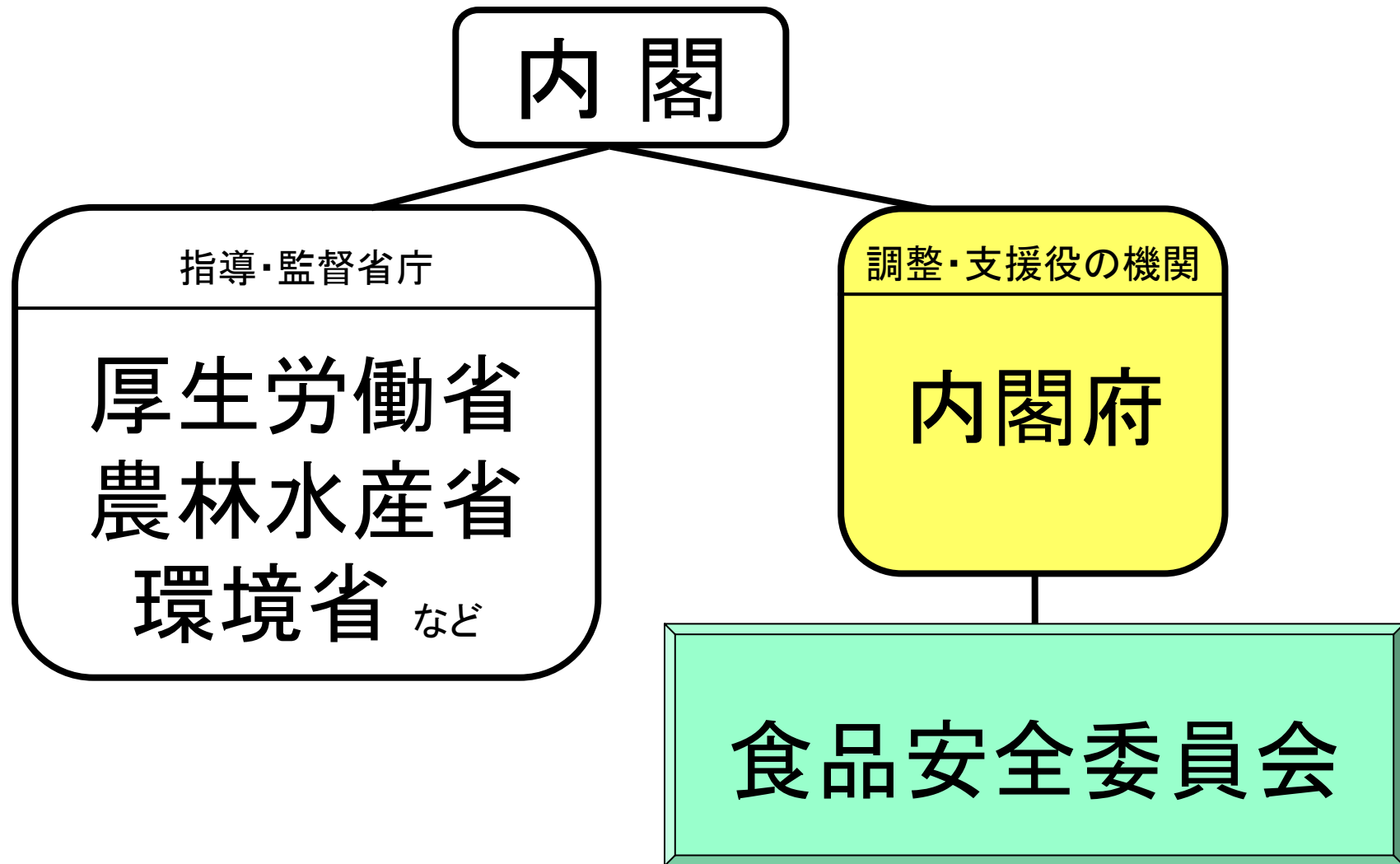
どんなに適切な「**リスク評価**」を行い、  
どんなに妥当な「**リスク管理**」をしても、  
「**リスクコミュニケーション**」に失敗すれば、  
「**リスク分析**」の成果は小さくなる。

国連食糧農業機関(FAO) Carlos Eddi博士

# 食品の安全性をリスク評価する機関

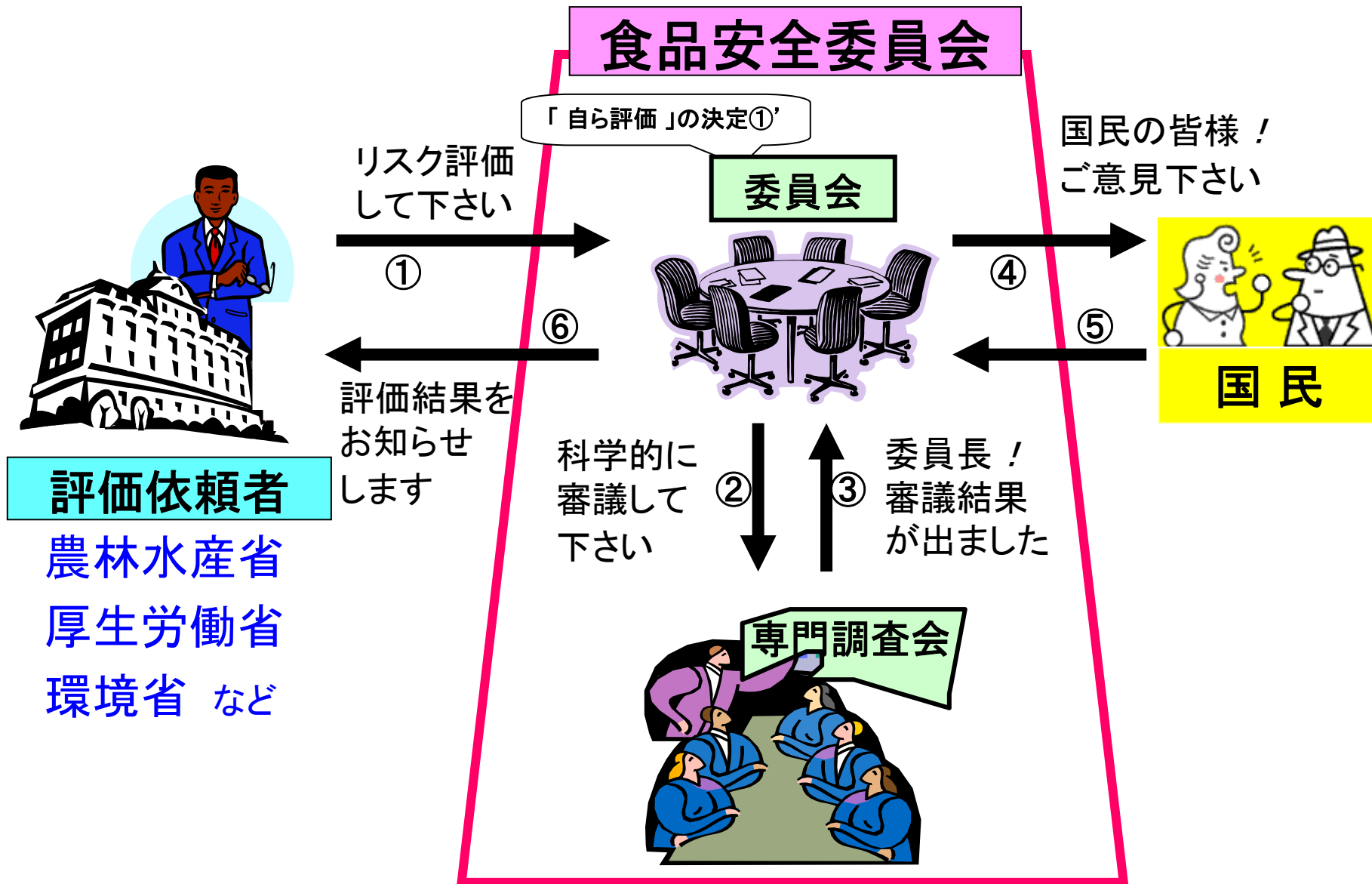


# 食品安全委員会とは？



食品安全基本法(平成15年制定)  
に基づいて設置

# どのような流れでリスク評価するの？



## 評価依頼者

農林水産省  
厚生労働省  
環境省 など

# 専門調査会とは？



**メンバー構成**  
各分野の専門家  
(大学教授・研究者など)

**専門調査会の数**  
11 (リスク評価を担当)  
3 (委員会運営等を担当)

**「専門」の区分**  
自然科学に基づいた11分野  
＜ 添加物、農薬、プリオン など ＞

# 誰がリスク評価を依頼してくるの？

評価を依頼する省庁 (リスク管理機関)	専門調査会
厚生労働省	添加物
厚生労働省、環境省*	農薬
厚生労働省、農林水産省	動物用医薬品
厚生労働省	器具・容器包装
厚生労働省	化学物質・汚染物質
厚生労働省	微生物・ウイルス
厚生労働省、農林水産省	プリオン
厚生労働省	かび毒・自然毒等
厚生労働省 (遺伝子組換え食品) 農林水産省 (遺伝子組換え飼料)	遺伝子組換え食品等
厚生労働省 (特定保健用食品)	新開発食品
厚生労働省、農林水産省	肥料・飼料等

\* 土壌残留に係る農薬登録保留基準の見直しについて

# どんな事項を依頼してくるの？（一例）

ソルビン酸カルシウム <small>（食品の保存料）</small>	添加物専門調査会
メタミドホス	農薬専門調査会
マラカイトグリーン	動物用医薬品専門調査会
ビスフェノールA	器具・容器包装専門調査会
魚介類等の中のメチル水銀	化学物質・汚染物質専門調査会
冷凍パン生地中の大腸菌	微生物・ウイルス専門調査会
米国およびカナダ産牛肉	プリオン専門調査会
総アフラトキシン	かび毒・自然毒等専門調査会
除草剤抵抗性大豆	遺伝子組換え食品等専門調査会
特定保健用食品	新開発食品専門調査会
タウリン <small>（飼料添加物）</small>	肥料・飼料等専門調査会

# 今までに評価したもの（1）

専門調査会	リスク評価 終了件数*	今までに評価した項目
添加物	72	香料および指定添加物
農薬	179	殺虫剤、除草剤など
動物用医薬品	197	ワクチン/ 抗生物質/ ホルモン剤など
器具・容器包装	4	牛乳等に用いられるPET容器
化学物質・汚染物質	21	メチル水銀、カドミウム、水道水の水質基準、ジクロロエチレンなど
微生物・ウイルス	3	セレウス菌、リ患家畜肉の廃棄基準、冷凍パン生地様食品 など
プリオン	11	牛受精卵の輸入、焼却肉骨粉含有肥料、飼料としてのブタ由来タンパクなど
かび毒・自然毒等	3	パツリン、 シンフィツム(コンフリー) など
遺伝子組換え食品等	62	トウモロコシ/ 綿/ GM微生物由来の添加物/ GM飼料・アルファルファ・大豆など
新開発食品	54	特定保健用食品
肥料・飼料等	24	タウリン、アスコルビン酸 など およそ(100%)
動薬・肥飼料・微生物合同	1	

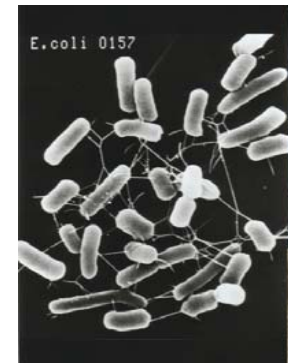
# 今までに評価したもの (2)

## 自ら評価

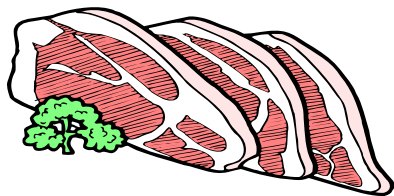
日本における牛海綿状脳症 (BSE) 対策について  
— 中間とりまとめ —



食中毒原因微生物のリスク評価



わが国に輸入される牛肉等  
(米国、カナダ産以外)



食品および器具・容器包装中の鉛 (進行中)



# リスク評価の方法

# リスク評価の大まかな手順（平易な表現をすれば）

## 農薬、添加剤など

1. 健康に悪影響を及ぼしうる原因は、どのような物質か？
2. その物質のどのような性質が、害の原因になっているか？
3. その物質のどのくらいの量が、食品を通じて体に入ってくるか？
4. その物質の許容できる摂取量(ADI、TDIなど)を決める

## かび、ウイルスなど

1. 害を与えるのは、どのような生物か？
2. その生物のどのような性質が、害の原因になっているか？
3. その生物のどのくらいの量が、食品を通じて体に入ってくるか？  
その生物がどのような経路を伝って人間の体に入ってくるか？
4. 食品の保存および、食べることによる健康被害の大きさを推定する

## 遺伝子組換え食品

新技術で作られた食品のリスクが、既存食品と比べて同等か？

# 評価結果は“きちんと”施策に反映されているの？

専門調査会	リスク評価結果(一例)	施策への反映
添加物	ポリソルベート20, 60, 65, 80のADIを設定した。	【厚生労働省】 規格基準を改正し、各品目の使用基準を設定
動物用医薬品	適切に使用されれば、健康への影響は無視できると考えられる。 (エチプロストントロメミンなど16品目)	【厚生労働省、農林水産省】 ・食品中の残留基準を設定しないことを決定 ・製造販売が承認された
遺伝子組換え食品等	人の健康を損なうおそれがないものと判断される。 (コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ MIR604など8品目)	【厚生労働省】 安全性審査を経たことを公表
新開発食品	適切に摂取される限りにおいて、安全性に問題はないと判断される。 (毎日コツコツふりかけ、おなか納豆)	【厚生労働省】 ・その食品の用途を評価し、特定保健用食品として許可 ・評価結果に基づく注意事項を表示することを決定

平成20年4月「食品健康影響調査の結果に基づく施策の実施状況の調査結果について」より抜粋

# 食品安全委員会の インタープリター育成講座

# 食品安全委員会のリスクコミュニケーション活動

- 意見交換会
- ホームページ
- メールマガジン
- 季刊誌「食品安全」
- 子供向け冊子
- DVD
- 食品の安全性に関するリスクコミュニケーター育成講座

# 全国各地で展開する育成講座

平成18年度

平成19年度

平成20年度

平成21年度

## 地域の指導者育成講座

リスクコミュニケーター  
育成講座

### ファシリテーター型

意見交換の円滑な推進者

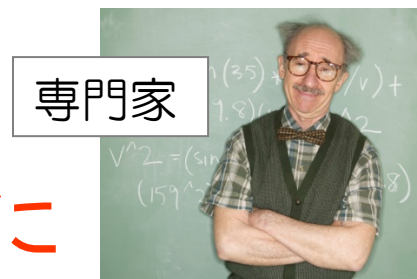
### インタープリター型

科学情報の双方向コミュニケーター

# 「インタープリター」は何をする人？

## “ 解釈する人 ”

専門的表現を やさしい表現に  
やさしい表現を 専門的表現に



## “ 解説する人 ”

わかりやすく人に伝える



インタープリター

Aさん、Bさん

共通項…… “双方向のやりとり”

# 本講座におけるインタープリターとは？

食品安全に関する

科学的知識を用いて

できるだけ日常のことばで地域住民と

双方向のコミュニケーションを行える人

リスク評価結果などの、  
科学的データに基づく正しい知識を、  
皆さまのご経験・お考えを織り交ぜて、  
地域の方々にお伝えいただくことです。

また、地域の皆さまの食の安全に関する  
ご意見や不安などを、  
食品安全委員会に伝えていただくことです。

食品安全委員会



地域の皆さま

# こんな場面で活躍されてみてはいかがでしょうか(1)

- ご家族、お友だち、近所の方に話してみる。意見を聞く。
- 自治体主催の食品関連行事に、メンバーとして参加  
(食の安全安心フェア、地域懇談会、食品安全フォーラムなど)
- 地元の科学館、博物館主催のイベントに、講演者、実演者として参加
- 学校教育の一環として、食に関する特別授業などに先生役として参加
- 地元の学校で食育の一環として、食の話をする
- 町内会、自治会で、講師として食の安全の話をする

## こんな場面で活躍されてみてはいかがでしょうか(2)

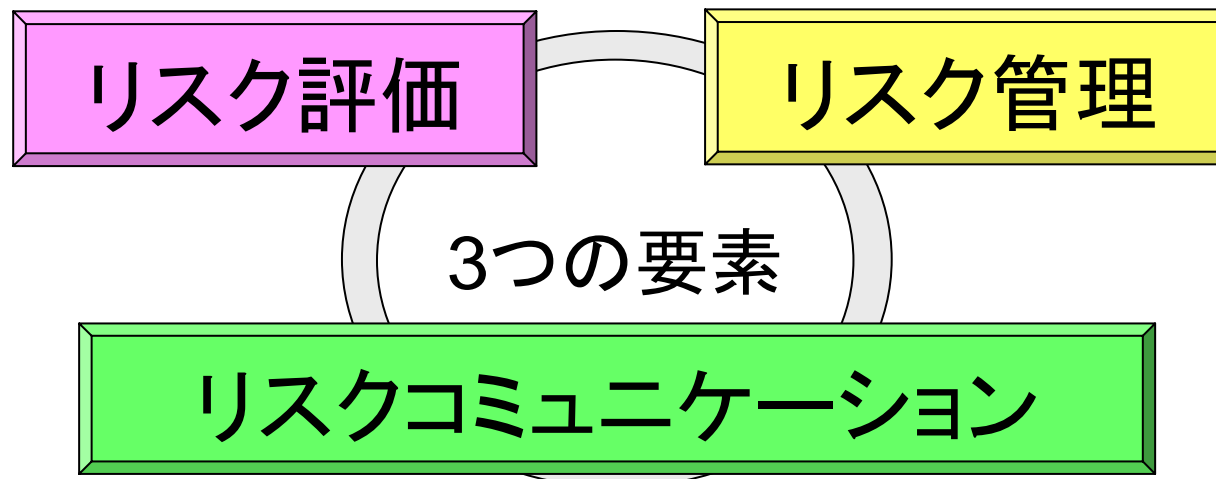
- 企業やNGOで、講師として食の話をする
- 調理師学校、カルチャーセンターなどの料理教室で、食の安全の話をする
- 雑誌、ホームページ、ブログに、食の安全の記事を書く
- テレビ番組やラジオ番組に、食関連のゲストとして出演する
- 食関連の見学会や展示会に、案内役として活躍する
- 今はやりの「サイエンス・カフェ」に話し手として参画、あるいは主催する

**「リスク分析」を  
インタープリター風に  
やさしく解説してみました。**

# もう一度・・・「リスク分析」とは？

リスクを

科学的に評価し、**妥当な管理をし、意見交換して、**  
食品の安全性を確保するための政策を決定する  
一連のプロセス(手法)



専門用語を聞いても  
イメージがつかめないとピ〜ンと来ないな

「分析」って何？  
実験でもやるの？

「評価」って何？  
順位でもつけるの？

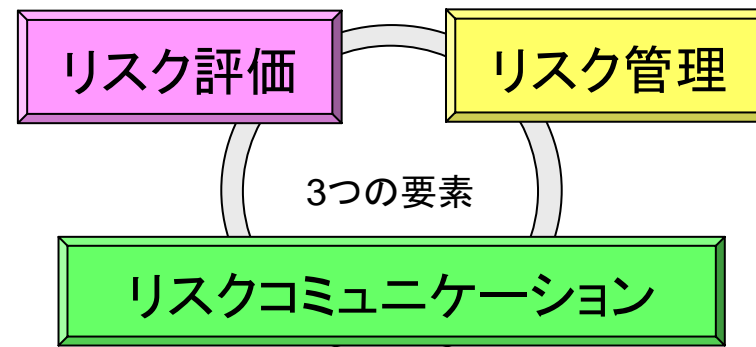


リスクコミュニケーション？  
初めて聞いたよ。

「管理」って？  
“カギをかけて  
嚴重に管理する”  
みたいなイメージ？

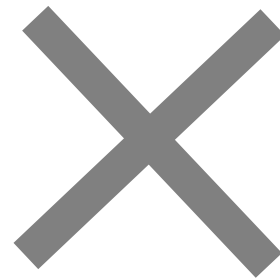
# 「リスク分析」は何のためにやるのか？

- ・ 食品を安全に食べるための最適のルールを、国や自治体が決めるため。
- ・ ルール違反の監視方法などを決めるため。



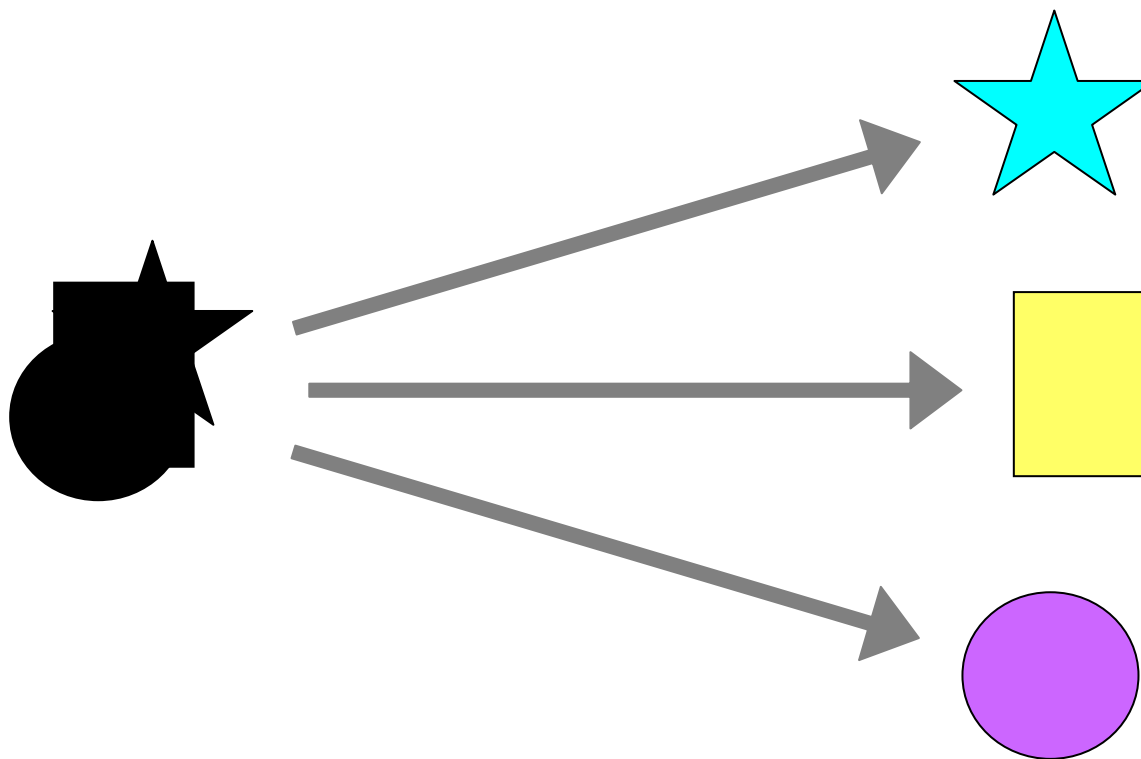
# リスク分析の「分析」とは？

検査センターや研究室で  
試験管や薬品を使って  
化学物質を調べる……



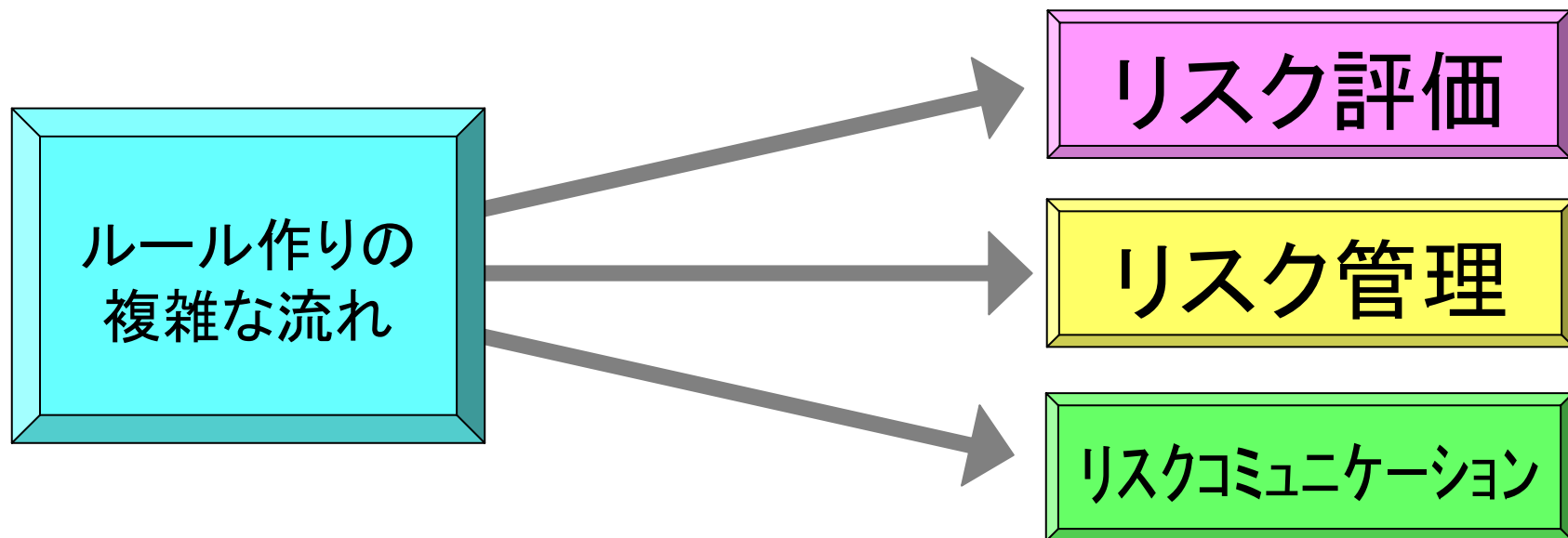
「分析」 = 基本的な要素に分けて  
考えよう。

…というやり方のこと



# 「リスク分析」のイメージ

最適のルールを決めるための複雑な  
流れを、3つのステップに分けて考える



## 「評価」と「管理」のイメージ

「**評価**」 = “**リスクがどんなものかを調べて、  
どれくらいなら安全かを決める**”



リスクに関する**科学論文等をよく読んで、  
人間が食べても健康に影響しない量などを決定する**

(食品添加物、農薬など)

「**管理**」 = “**よい状態を保つ**”



実際の**使用基準や罰則規定を決めて、  
それらが守られるように監視・監督する**

# インタープリター活動のモットー

“小さなことからコツコツと”

# 本講座プログラムの3本柱

## 国民にとっての 「食の安全」

さまざまな出来事が  
漠然と混ざっている！

### 科学的評価

農業・漁業・酪農  
加工生産

流通(輸送体制、原産地)

小売り

調理(調理方法、器具)

食事(メニュー、食事中的話題)

食器(材質)

店の衛生管理

経営姿勢・倫理観

店員等のマナー、質

リスク評価結果  
(科学的理解)

食品安全と  
リスク認知

コミュニケーション  
の方法